

富山県感染症発生動向速報

(2026年第21週分・5月18日～5月24日)

■今週の主な動向

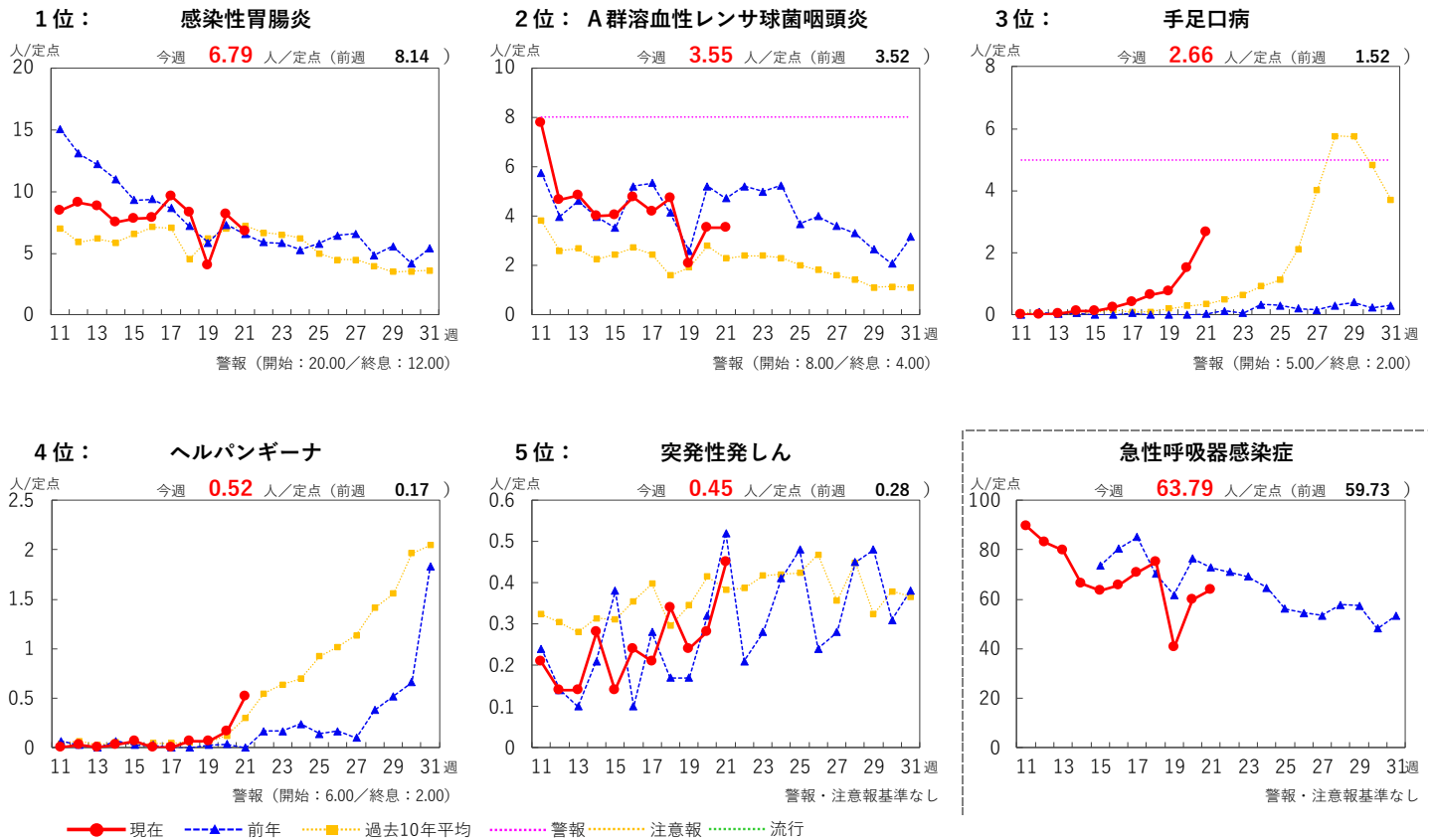
○手足口病の報告数は、幼児を中心に増加が続いています。

手足口病の報告数は今週 2.66 人/定点となり、8 週連続で増加しています。手足口病は、1～4 歳の幼児を中心に夏季に流行する傾向があります。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴う発疹がみられます。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染）が知られています。感染予防のため、おむつ交換やトイレの後、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

([第20週インフォメーション](#)参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 21 週・5/18～5/24)



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3件 (①20歳代、男性 ②20歳代、女性 ③60歳代、男性)

五類感染症 水痘（入院例） 1件（40歳代、男性）

梅毒 2件 (①第20週診断分：50歳代、男性、無症候

②40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)





6月1日から7日は HIV 検査普及週間 不安な方は検査を！

《 インフォメーション 》

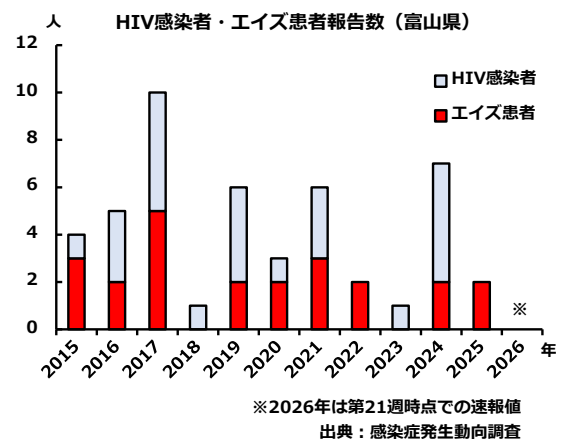
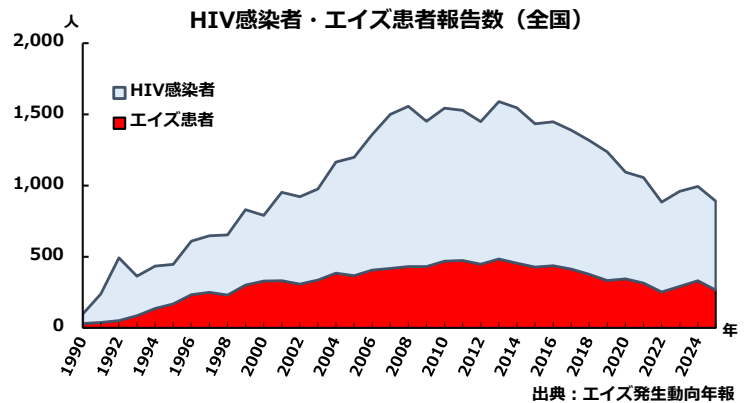
● HIV 検査普及週間

エイズ（後天性免疫不全症候群）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染することによって免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍などの様々な疾患を発症した状態を言います。厚生労働省エイズ動向委員会によると、2025年に新たに報告された全国の HIV 感染者（HIV に感染しているが、エイズを発症していない方）およびエイズ患者はそれぞれ 624 人、266 人で（速報値、上図）、前年（それぞれ 662 人、332 人）よりも HIV 感染者はわずかに減少、エイズ患者は減少しました。富山県における過去 10 年間の HIV 感染者及びエイズ患者をあわせた新規報告数は年間 1～10 人で推移しており、今年は第 21 週時点で報告はありません（下図）。

HIV に感染すると数週間後にインフルエンザ様症状が出ることがありますが、自然に軽快し、自覚症状のない時期（無症候期）に入ります。無症候期は数年から十数年続きますが、その間に免疫力の低下が進行し、日和見感染症や悪性腫瘍などの疾患を発症するようになります。その中でも、23 の代表的指標となる疾患が決められており、このうち 1 つでも発症した時点でエイズ発症と診断されます。

HIV は感染力が弱く、日常生活では伝播しません。感染経路は、主に「性的接触による感染」「血液を介しての感染」「母子感染」の 3 つです。HIV 感染症は適切な治療によりエイズの発症を予防することができるため、HIV 感染を早期に発見することが重要です。

厚生労働省は毎年 6 月 1 日～7 日を「HIV 検査普及週間」と定め、HIV 検査の普及を図っています。今年度は、県内ではこの期間に、中部厚生センター、砺波厚生センター、富山市保健所において通常の検査体制に加え、平日夜間の検査を実施しています。富山市保健所においては休日検査も実施しています（[富山県エイズ相談・HIV 検査 HP](#)）。HIV 感染の不安がある方は、この機会に HIV 検査を受けることをお勧めします。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第21週 2026年5月18日～2026年5月24日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					3	3	1		10	3	24	38	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					3	3	1		3	3	16	23	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症											1	1	
四類感染症	E型肝炎									1			1	
	レジオネラ症							1	1	3	1	5	11	
五類感染症	急性脳炎							1				1	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	4	8	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		2	4	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		4	2	4	12	
	水痘（入院例）					1	1	1				2	3	
	多剤耐性緑膿菌感染症											1	1	
	梅毒	1					1	3	2	5		8	18	
	破傷風											1	1	
	百日咳							1				7	8	
急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	272 38.86	239 47.80	1,117 85.92	276 39.43	1,158 72.38	3,062 63.79	6,957 1,440	6,410 1,203	23,239 3,344	6,686 1,430	29,255 4,659	72,547 12,076	
	インフルエンザ			1 0.08		12 0.75	13 0.27	273	141	265	144	505	1,328	
	COVID-19			5 0.38	3 0.43	13 0.81	21 0.44							
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症	1 0.25		5 0.63	1 0.25	3 0.30	10 0.34	27	9	105	23	94	258	
	咽頭結膜熱		1 0.33	10 1.25		1 0.10	12 0.41	27	19	136		63	245	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50	9 3.00	33 4.13	5 1.25	54 5.40	103 3.55	109	163	1,204	196	1,119	2,791	
	感染性胃腸炎	40 10.00	19 6.33	24 3.00	14 3.50	100 10.00	197 6.79	567	442	944	247	2,735	4,935	
	水痘			3 0.38		1 0.10	4 0.14	3	15	34	9	80	141	
	手足口病		4 1.33	52 6.50	4 1.00	17 1.70	77 2.66		19	143	9	21	192	
	伝染性紅斑			2 0.25			2 0.07	8	3	19	4	10	44	
	突発性発しん		1 0.33	1 0.13	1 0.25	10 1.00	13 0.45	5	14	52	14	62	147	
	ヘルパンギーナ	1 0.25	3 1.00	7 0.88		4 0.40	15 0.52	14	3	16		7	40	
	流行性耳下腺炎				1 0.25		1 0.03	2		2	1	6	11	
	流行性角結膜炎							8	2	3	1		14	
	基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎											1	1
		無菌性髄膜炎							1					1
マイコプラズマ肺炎								8		2	2	4	16	
クラミジア肺炎											2		2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										1	1		2	
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							55	41	49	40	101	286	
	COVID-19による入院患者					1	1	18	16	7	11	58	110	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。